ジオパークによるまちづくり(兵庫県香美町)

事例の概要(事業名:山陰海岸ジオパーク魅力発信)

平成22年10月、山陰海岸が世界ジオパークネットワークに加盟認定されたことを 機に、その中心に位置する自治体として「ジオパーク」によるまちづくりを推進。

町あげての推進体制づくり、ファンクラブの設立、住民への啓発を行った。

事例の内容

事業内容

世界認定PR看板・ジオサイト案内看板設置、ジオパークDVD作成、町民出前講座開設、海から臨む遊覧船体験乗船、ジオ資源展示物作成、ウォーキングイベント開催経費

総事業費

平成22年度 2.3百万円 (うち過疎債 2.3百万円)

事業の効果

- ・住民主体のファンクラブ設立
- ・ジオガイドの養成講座開設(H22年度:10人)
 - →観光や商用に活用するための知識を習得できる。

住民を広く巻き込ん だまちづくりの推進

- ・ジオパークマスターの養成
 - →住民自らが見所を紹介・案内できる講習会を開催
- ・観光入込数の増加
- まちづくりの活動を通した町全体(旧3町)の交流

ポイント

▶ 町あげての推進体制づくりを図ったことにより、ジオパークマスター(約170人)、ご当地メニュー(ジオ鍋、香住丼)や戦隊ヒーローが誕生する等、まちおこしの機運が高まり、観光入込数も増加(6万4千人増(前年比+4.8%))





